

令和7年5月8日奥州地区交流会報告書

日時:2025年5月7日(水)10:00~12:00

場所:奥州市水沢南地区センター

参加:支部長 端坂則喜、副支部長 佐藤かづ子

「地域包括支援センターみずさわ南」熊谷保健師

「奥州市保健所 難病担当」太野保健師

他8名

内容

1. 報告(端坂支部長)

- ・定期総会と講演会報告
- ・遠野地区勉強会
- ・一関保健所と岩手県支部共催のパーキンソン病交流会
- ・大船渡保健所主催 パーキンソン病講演会
- ・宮城県支部主催 北海道・東北ブロック交流集会の案内

2. 近況報告(全員)

3. 困りごと相談

質疑応答

Aさん

- 最近すくみ足や声が出にくくなってきた。

端坂

- どんな時にすくみ足になるのですか

Aさん

- 平らなところを歩くときになります。階段は普通に登れ、2階の平らなところでは普通に歩ける

端坂

- 今の説明から平らなところ、すべてですくみ足になるわけではないようですね。階段を上って2階の平らなところではすくみ足にならないということから、意識して足をあげて大きく前に足をだすことで、すくみ足は改善されると思います。私も午後の散歩中にすくみ足になったので、意識して大きく足を前にだすようにすることを続けたところ、すくみ足が改善された。
- すくみ足になったら、一旦、立ち止まり一呼吸おくことも大事だと思います。

端坂

- 声が出にくくなったり、思っていることが言葉にならない時は、焦らず、一呼吸おくことが大事だと思います

Bさん

- パーキンソン病発症から12年だが、現在の処方内容があっているか不安である

端坂

- 発症から12年ということだが、処方されている薬は多くなく歩行もしっかりしているので、適切な処方だと思います。主治医を信頼して治療を受けてください。

Cさん

- 公的支援制度についての知識が不足していると思う

端坂

- ほとんどの方が公的支援制度についての知識が不足していると思われます。
- 奥州市保健所難病担当「太野保健師」や地域包括支援センターみずさわ南「熊谷保健師」に参加していただいているのは、患者の生の声を聞いてもらい、アドバイスをもらうためであるので、知りたいことや、疑問に思っていることを相談してください

端坂

- 薬だけでは、体は動きません。リハビリと組み合わせることで薬を増やさなくても動けるようになることを是非、理解していただきたいと思います。